

行政改革プラン(第10次)の進捗管理

資料 3

行政改革プラン(第9次)の進捗管理における課題

- ・行政改革プラン(第9次)では改革戦略を達成するための各年度の実施計画がプラン初年度に立てられていない項目があった。
- ・毎年度進捗管理をしている中でも、計画期間の最終年度まで取組が進んでいない項目があった。
- ・取組効果が財政削減額(財政コスト面)しかない。
- ・公表している進捗管理シートは、1つの取組項目でも取組内容等が複数ページにまたがり、一目で取組内容の進捗・経過が分かりづらい。



行政改革プラン(第10次)での進捗管理

- ✓ 全ての取組項目で、計画的に改革戦略が達成できるよう、**プラン初年度に完了までのスケジュールをしっかりと立て**記載する。(事務局とりまとめ時にも徹底する。)
- ✓ **各年度の取組計画を四半期ごと**に立てて進捗管理をすることとし、取組実績の報告も現在の年度末終了後の年1回から上半期・下半期の**年2回**とする。
- ✓ 取組効果を財政削減額(財政コスト面)に加え、**財政コスト面以外でも効果が記載**できるようにする。(進捗管理シートに記載欄を追加する。)
- ✓ 1つの取組項目は**1ページに集約して進捗管理**をする。(計画期間5年間の取組・進捗の経過が分かりやすいものとなるよう進捗管理シートを修正)

行政改革プラン(第10次)の進捗評価(毎年度)

【年度評価】

各年度のスケジュール・取組計画を実施できたかどうかの進捗評価(現在と同じ)

◎ 完了 ○ 順調 △ 一部遅れ × 遅れ の4段階による評価

行政改革プラン(第10次)の総括評価(期間終了後)

【(新)5年間の総括評価】

- ・計画期間終了後の最初の行政改革推進委員会(外部委員)において、5年間の取組結果や成果を報告し、報告内容をもとに各委員に採点してもらい評価を行う。
- ・評価は市民サービスの向上度や業務効率化の度合い等の評価項目を設定する予定。

※評価項目や評価基準の詳細は、今後検討